



令和4年度入学式 式辞

77回生、250名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日はそれぞれが少しの不安を持ちながらも、新しい生活に希望を抱き校門を通ったことと思います。

今、私たちはかつてない大きな社会の変革期に立たされています。「超スマート社会」といわれるsociety5.0が訪れようとしており、生活は劇的に便利で快適なものになることが予想されます。一方、新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻など、先行き不透明な「予測困難な時代」に不安の声も多く聞かれます。

そのような状況下、新入生の皆さんは義務教育の後半、伝統ある二見中学校の一員となりました。皆さんの中学校での3年間は大変短いものですが、長い人生の中でも大きく心身共に変化する大切な3年間です。その中学校生活をどのように過ごしていけばよいのでしょうか。2つのことを話します。

まず1つ目です、何よりも自分のことをよく知り、そして自分を大切にしてください。人には得意なこと、苦手なこと、好きなこと、嫌いなことがあります。これから始まる生活では、教科の学習・部活動・友達関係・進路など、多くの出来事が起こります。思うように進めば問題はないのですが、うまくいかないことも多くあります。そんな時こそあるがままの自分を受け入れてください。自分のことをよく知り、大切にできる人は、他者のことも価値ある存在と尊重し、多様な人々と協働できま

す。是非、まず自分のことを大切にしてください。

2つ目は学校は間違えたり失敗したりしてもいいところだ、ということです。様々なことに自分の意思でチャレンジしてください。間違えたり失敗したりすることから私たちは学びます。ただ、気をつけないといけないことがあります。同じ失敗はしてはいけません。そして、もし、人が失敗した時にはそのことを受け止めてあげてください。そうすれば失敗を恐れない前向きな素晴らしい77回生になるでしょう。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これからの中学校生活3年間で、子どもたちは心身ともに大きく成長します。成長の過程では、大人に対して厳しい面を見せることもあります。一方、自分に自信が持てず、悩みや不安が広がる時期でもあります。どうぞ常に目と心を離さず、よき相談相手となっていただきたいと思います。さらに、お子様が健やかに成長しますよう、教職員と手を携え、お力添えくださいますよう、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、新入生の皆さんの輝かしい未来と、ご出席いただきました保護者の皆さまのご健勝を祈念いたしまして、式辞といたします。

令和4年4月11日
明石市立二見中学校長

